

2025 年度 長岡大学シラバス

授業科目名	ネットワークリテラシー (Network Literacy)					担当教員	高梨 俊彦 (タカナシ トシヒコ)	
2020-23 年度 入学者 (20K-23K)	科目コード	科目区分	必修・ 選択区分	単位数	配当年次	開講期	科目 特性	知識定着・確認型 AL/資格対応 科目
	2012-0-11-026	教養科目	必修	2 単位	1 年次	後期		
2024-25 年度 入学者 (24K-25K)	科目コード	科目区分	必修・ 選択区分	単位数	配当年次	開講期	科目 特性	

① 授業のねらい・概要
情報機器の利用、Web サイトの閲覧、電子メールの送受信、インターネットを安全に使うためのマナーやモラルに関連した基礎知識と利用方法を学び、インターネットを自由に利活用するのに必要とされる基本的な知識と能力を身につける。「.com Master BASIC」の合格水準に達する知識を習得することができる。
② ディプロマ・ポリシーとの関連
専門的知識・技能を活用する能力
③ 授業の進め方・指示事項
テキストをもとに主に講義形式で授業を進める。必要に応じてコンピュータの使った実習を行う。テキストは必ず購入して持参すること。授業で学習した範囲のテキストの例題と模擬問題を解き、その内容を確実に理解すること。 また、2022 年度以降の入学生は、各自のノート PC・LAN ケーブルを第 1 回目から持参すること。
④ 関連科目・履修しておくべき科目
⑤ テキスト(教科書) ※授業で使用する。
小林道夫(2020)『完全対策 NTT コミュニケーションズ インターネット検定 .com Master BASIC 問題+総まとめ (公式テキスト第 4 版対応) (初版)』NTT 出版株式会社
⑥ 参考図書・指定図書 ※授業では使用しないが、授業内容に関係し、理解を深めるために必要とする。
⑦ 担当教員からのメッセージ (昨年度授業アンケートを踏まえての気づき等)
例題をこなし、理解度を確認しながら授業を進めていく。
⑧ 評価 A に対応する具体的な学習到達目標の目安
(i) インターネット、LAN の概要・仕組みが具体的に説明でき、LAN や Wi-Fi の構築設定ができる。 (ii) 各種デバイスの特徴や、インターフェースの特徴を具体的に説明できる。 (iii) 法律や各リテラシーに則り適切にメディアを利用でき、ビジネスマナーに則り電子メールの送受信ができる。

⑨ ループバック					
評価基準	S	A	B	C	D
評価項目	到達目標を越えたレベルを達成している	到達目標を達成している	到達目標達成にはやや努力を要する	到達目標達成には努力を要する	到達目標達成には相当の努力を要する
(i) インターネット・LAN に関する知識	Aの基準に加え、自宅等の小さなネットワークに不備が生じた際、その原因を突き止め正常に復旧させることができる	インターネット、LAN の概要・仕組みが具体的に説明でき、LAN やWi-Fi の構築設定ができる	インターネット、LAN の概要・仕組みが具体的に説明でき、既存のLAN、Wi-Fi に自らのデバイスを接続設定できる	インターネット、LAN の概要・仕組みが説明できる	インターネット、LAN の概要・仕組みが説明できない
(ii) 情報デバイスの活用に関する知識	Aの基準に加え、用途・目的に応じて適切なデバイスやインターフェースを選択できる	各種デバイスの特徴や、インターフェースの特徴を具体的に説明でき	各種デバイスの特徴を具体的に説明でき、インターフェースの名称を正しく述べることができる	各種デバイスの特徴を具体的に説明できる	各種デバイスの特徴を具体的に説明できない
(iii) 各自のデバイスの管理とメディアリテラシー・インターネットリテラシー	Aの基準に加え、電子メール送受信時に、複数・大容量ファイルを添付したいときに、工夫をして送受することができる	Bの基準に加え、法律や各リテラシーに則り適切にメディアを利用でき、ビジネスマナーに則り電子メールの送受信ができる	Cの基準に加え、法律や各リテラシーに則りメディアを利用し適切な情報収集や情報発信ができる	自らのデバイス内のアプリケーション、ファイルを整理整頓して管理することと電子メールの送受信ができる	自らのデバイス内を整理整頓できていない。またインターネット利用時の法令順守、マナー遵守のいずれかでもできない

⑩ 学習到達目標（評価項目）	定期試験 (レポート含む)	小テスト	課題	発表・ 実技	授業への 参加・意欲	その他	合計
総合評価割合	50%	30%	20%				100%
(i) インターネット・LAN に関する知識	35%	15%	10%				60%
(ii) 情報デバイスの活用に関する知識	10%	10%					20%
(iii) 各自のデバイスの管理とメディアリテラシー・インターネットリテラシー	5%	5%	10%				20%
フィードバックの方法	小テストは採点后、解説の時間を設ける。						

⑪ 授業計画と学習課題			
回数	授業の内容	授業外の学習課題と時間（分）（※特別な持参物）	
1	授業概要、インターネットの利用	教科書 p. 24～50 の復習と例題と模擬問題での復習	120 分
2	情報機器の基礎知識①（代表的な情報機器）	教科書 p. 52～61 の予習と例題と模擬問題での復習	120 分
3	情報機器の基礎知識②（インターフェース・入力機器）	教科書 p. 62～72 の予習と例題と模擬問題での復習	120 分
4	情報機器の基礎知識③（出力機器・デジタルデータ）	教科書 p. 73～84 の予習と例題と模擬問題での復習	120 分
5	OS の役割と種類・OS の機能	教科書 p. 85～93 の予習と例題と模擬問題での復習	120 分
6	アプリケーションソフト・プログラミング言語	教科書 p. 94～104 の予習と例題と模擬問題での復習	120 分
7	インターネットの仕組み 小テスト	教科書 p. 106～117 の予習と例題と模擬問題での復習 テスト準備学習	240 分
8	インターネットへの接続環境	教科書 p. 118～129 の予習と例題と模擬問題での復習	120 分
9	ISP までの回線	教科書 p. 130～139 の予習と例題と模擬問題での復習	120 分
10	Web と電子メールの仕組み・クラウドサービス	教科書 p. 140～154 の予習と例題と模擬問題での復習	120 分
11	インシデント・マルウェアと不正アクセス	教科書 p. 156～171 の予習と例題と模擬問題での復習	120 分
12	個人情報の管理・パスワードの管理と認証	教科書 p. 172～182 の予習と例題と模擬問題での復習	120 分
13	マルウェアと不正アクセス対策・通信経路の暗号化	教科書 p. 183～194 の予習と例題と模擬問題での復習	120 分
14	インターネット上のモラル・知的財産権 小テスト	教科書 p. 196～209 の予習と例題と模擬問題での復習 小テスト準備学習	240 分
15	電子商取引・その他の法律	教科書 p. 210～222 の予習と例題と模擬問題での復習	120 分

⑫ アクティブラーニングについて
復習用課題と事前学習用課題の二つを行うことによって知識の定着を図る知識定着・確認型 AL を採用する。提出用紙に書かれた質問や改善要望について、各回の始めに答え、学修内容をフィードバックする。

※以下は該当者のみ記載する。

⑬ 実務経験のある教員による授業科目
実務経験の概要
業務用ソフトウェアの開発、情報機器の販売・修理、社内ネットワークの構築、インターネットサーバーの構築・運用・保守の実績がある。
実務経験と授業科目との関連性
情報機器の構成パーツ、通信機器の実機などに触れながら、情報機器の構成や LAN の概要・仕組み理解し、LAN や Wi-Fi の構築設定ができる知識を身につけることを目指す。また、ネットワーク通信障害を解決するコツを、事例を交えて解説する。